



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月1日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 6820 URL <http://www.icom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大野 健治 TEL 06-6793-5301  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	16,822	△0.5	591	△25.1	1,088	49.3	703	48.8
24年3月期第3四半期	16,905	3.9	790	139.6	729	178.3	472	301.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,018百万円 (ー%) 24年3月期第3四半期 △57百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	47.49	ー
24年3月期第3四半期	31.90	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	51,774	47,077	90.9
24年3月期	51,212	46,355	90.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 47,077百万円 24年3月期 46,355百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
25年3月期	ー	10.00	ー		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,050	2.0	1,440	10.2	1,580	3.5	1,100	0.4	74.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	14,850,000株	24年3月期	14,850,000株
25年3月期3Q	31,583株	24年3月期	31,470株
25年3月期3Q	14,818,439株	24年3月期3Q	14,818,640株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、国内におきましては、復興需要等を背景に景気は緩やかに回復しつつありますが、為替相場(売上適用レート)は円高水準で推移し、中国等新興国向け輸出の減少もあり、一進一退の状態から脱せない状況が続いております。また海外におきましても、債務危機による欧州景気の停滞が依然続くなか、米国において財政の崖に対する不安が拭い去れない等、世界経済は回復力の乏しい状態が続いております。

この様な状況のなか、当企業集団におきましては、国内の復興需要を含む陸上業務用無線機器市場向けにデジタル無線機器の販売を推し進め、また海外におきましても各国の陸上業務用無線通信機器市場に対しまして、各仕様に応じた陸上業務用デジタル無線通信機器を供給する等の販売促進活動を行ってまいりましたが、停滞する欧州市場と、購買意欲が低迷していますアマチュア用無線通信機器及び海上用無線通信機器市場での売上げの減少により、前年同期比で減収となりました。

損益面では、設計段階より海外部材の採用を積極的に進めることで外貨建て部材の調達率を向上させ、また工場における生産方式の見直しを徹底して行う等の原価低減活動に取り組んでまいりましたこと等により原価率は低下しましたが、減収による影響や積極的な研究開発投資により営業利益は前年同期比で減益となりました。しかし当第3四半期末におきまして急激に円安に推移しましたことから、外貨建資産による為替差益が発生し、経常利益、四半期純利益はともに前年同期比で増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は168億2千2百万円と、前年同期に比べ8千2百万円(△0.5%)の減収となりました。また営業利益は5億9千1百万円と、前年同期に比べ1億9千8百万円(△25.1%)の減益となり、経常利益は10億8千8百万円と、前年同期に比べ3億5千9百万円(49.3%)の増益、四半期純利益も7億3百万円と、前年同期に比べ2億3千万円(48.8%)の増益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

日本セグメントにおきまして、停滞感の増す景気の影響により、アマチュア用無線通信機器及び海上用無線通信機器の販売が低迷するなか、国内におきましては陸上業務用デジタル無線通信機器の販売が好調に推移し、また東南アジア等におきましても、低価格ながら基本性能に優れた陸上業務用無線通信機器等の売上げが増加しましたことから、外部顧客に対する売上高は98億4千3百万円(前年同期比2.3%増)となりましたが、試験研究費等の増加により、営業利益は4億7千3百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

#### ② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA. ]

北米セグメントにおきまして、米国における無線通信方式のナローバンド化にとまなう買い替え需要等により、ナローバンド化に対応した陸上業務用デジタル無線通信機器の販売が増加しましたが、アマチュア用無線通信機器等の販売低迷もあり、外部顧客に対する売上高は54億5千6百万円(前年同期比3.4%減)となりました。しかし、業務用無線通信機器の売上げ増加により売上総利益率が改善し、営業利益は2億4千1百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

#### ③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

ヨーロッパセグメントにおきまして、南欧における景気低迷は深刻の度合いを一層増しており、欧州全体の無線通信機器販売に影響を与えましたことと、長期化しました為替相場におけるユーロ安円高の影響により売上げが減少し、外部顧客に対する売上高は5億5千2百万円(前年同期比18.7%減)となり3千万円の営業損失(前年同期は7百万円の営業損失)となりました。

#### ④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.]

アジア・オセアニアセグメントにおきまして、アマチュア用無線通信機器は市場の低迷を反映し対前年同期比で売上げが減少しましたが、CB無線機等の陸上業務用無線通信機器の販売が好調に推移しましたことから、外部顧客に対する売上高は9億7千万円(前年同期比1.3%増)となりました。しかし品目別売上の変動による売上総利益率の低下と販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1億2百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の概況は、次のとおりであります。

① 資産

総資産は前連結会計年度比5億6千1百万円増加し、517億7千4百万円となりました。

主な内訳は、たな卸資産（合計）の増加14億3千2百万円、投資その他の資産その他の増加10億6千1百万円及び子会社であるIcom America, Inc. の土地・建物の取得等による有形固定資産の増加7億3千4百万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少14億5千1百万円及び現金及び預金の減少12億6千万円等の減少要因によるものであります。

なお、投資その他の資産その他の増加10億6千1百万円の主な内訳は、投資有価証券の増加5億2千9百万円、破産更生債権の増加4億4千4百万円、繰延税金資産（固定）の増加5千9百万円及び長期前払費用の増加5千万円等であります。

② 負債

負債合計は前連結会計年度比1億6千万円減少し、46億9千6百万円となりました。

主な内訳は、買掛金の増加1億4千4百万円及び退職給付引当金の増加1億2百万円等の増加要因と、賞与引当金の減少2億6千2百万円及び未払法人税等の減少1億7千5百万円等の減少要因によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は前連結会計年度比7億2千2百万円増加し、470億7千7百万円となりました。

主な内訳は、四半期純利益による7億3百万円及び為替換算調整勘定による増加3億2千3百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少2億9千6百万円等の減少要因によるものであります。以上の結果、自己資本比率は90.5%から90.9%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では平成24年5月18日公表の業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更が、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,543	26,282
受取手形及び売掛金	4,804	3,352
有価証券	199	—
商品及び製品	3,004	3,843
仕掛品	61	78
原材料及び貯蔵品	2,304	2,880
その他	1,510	1,800
貸倒引当金	△18	△20
流動資産合計	39,410	38,218
固定資産		
有形固定資産	7,024	7,758
無形固定資産	202	159
投資その他の資産		
その他	4,629	5,732
貸倒引当金	△53	△94
投資その他の資産合計	4,575	5,637
固定資産合計	11,802	13,555
資産合計	51,212	51,774
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,386	1,530
未払法人税等	410	235
賞与引当金	406	143
製品保証引当金	41	42
その他	1,250	1,244
流動負債合計	3,495	3,196
固定負債		
退職給付引当金	739	842
その他	621	657
固定負債合計	1,361	1,499
負債合計	4,857	4,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	29,709	30,116
自己株式	△102	△102
株主資本合計	47,136	47,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20	△29
為替換算調整勘定	△760	△436
その他の包括利益累計額合計	△781	△466
純資産合計	46,355	47,077
負債純資産合計	51,212	51,774

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	16,905	16,822
売上原価	10,245	9,911
売上総利益	6,659	6,911
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	6	45
給料及び手当	1,516	1,582
賞与引当金繰入額	68	54
退職給付引当金繰入額	107	97
試験研究費	1,992	2,246
その他	2,178	2,293
販売費及び一般管理費	5,869	6,319
営業利益	790	591
営業外収益		
受取利息	171	162
受取配当金	7	8
投資有価証券売却益	0	3
為替差益	—	359
補助金収入	40	7
その他	53	109
営業外収益合計	272	650
営業外費用		
売上割引	103	114
為替差損	205	—
その他	25	39
営業外費用合計	333	153
経常利益	729	1,088
特別利益		
固定資産売却益	1	3
特別利益合計	1	3
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	2
特別損失合計	5	2
税金等調整前四半期純利益	724	1,089
法人税等	252	385
少数株主損益調整前四半期純利益	472	703
四半期純利益	472	703

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	472	703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△8
為替換算調整勘定	△447	323
その他の包括利益合計	△530	315
四半期包括利益	△57	1,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57	1,018

(3) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当該事項はありません。